



「学校協議会」の充実に向けて

— 保護者・地域とともにすすめる学校づくり —

1 学校協議会とは

はじめに



- 大阪市では、さまざまな教育改革を進めています。
- 教育の振興には、学校園・家庭・市民・地域団体・NPO・企業と、教育委員会・区役所などの行政その他の教育にたずさわる全ての人や団体がそれぞれの役割と責任を自覚し、互いの信頼を基盤として連携協力し、**社会総がかり**で教育活動に取り組むことが大切です。

1 学校協議会とは

開かれた学校運営を実現し、
より良い学校教育を推進するために

すべての学校園に必ず置くこととされた組織

目 的

- 保護者や地域住民などのみなさんの学校運営への参加を促進すること
- 保護者や地域住民などのみなさんの意向を学校運営に反映すること

今、教育改革が進んでいます

○平成24年5月「大阪市教育行政基本条例」成立

- 市民の多様な意向を反映
- 教育状況等の積極的な情報提供
- 学校・家庭・地域住民が役割と責任を自覚する など

○平成24年7月「大阪市学校活性化条例」成立

■ 学校協議会の設置

- 校長の公募、校長の権限強化
- 学校選択制 など

○平成25年3月「大阪市教育振興基本計画」改訂(1次)

平成29年3月改訂(2次) 令和2年度まで⇒令和3年度まで(1年延長)

- 子どもの自立に必要な力の育成(カリキュラム改革、グローバル改革)
- 学校教育の質の向上(マネジメント改革)
- 市民参画の仕組みづくり(ガバナンス改革、学校サポート改革)など

○令和4年3月「大阪市教育振興基本計画」策定(令和4年度～令和7年度)

令和6年3月中間見直し(取組内容や目標を一部追加・修正)

- 安全・安心な教育の推進
- 未来を切り拓く学力・体力の向上
- 学びを支える教育環境の充実

$$\text{学校(教育)力} = \text{校園長 (マネジメント力)} \times \text{学校協議会 (提案・建設的意見)} \times \text{保護者・地域 (協力)}$$

○大阪の教育を良くしていくために・・・

- ・教育の課題を学校(先生方)だけでは解決できなくなっている
→ 教育委員会からの上意下達ではなく、

「学校」「学校協議会」「保護者・地域」が学校を経営するという理念へ

○3者の力の「かけ算」で学校の力は増していく

- ・3者のいずれかが「ゼロ」に近くなれば、学校の力は「ゼロ」にもなってしまいう
- ・学校が良くなるのも、良ならないのも、この3者の「自己責任」に
- ・学校協議会での建設的な意見の表明によって、学校の力が飛躍的に高まっていく

1 学校協議会とは

基本的な役割

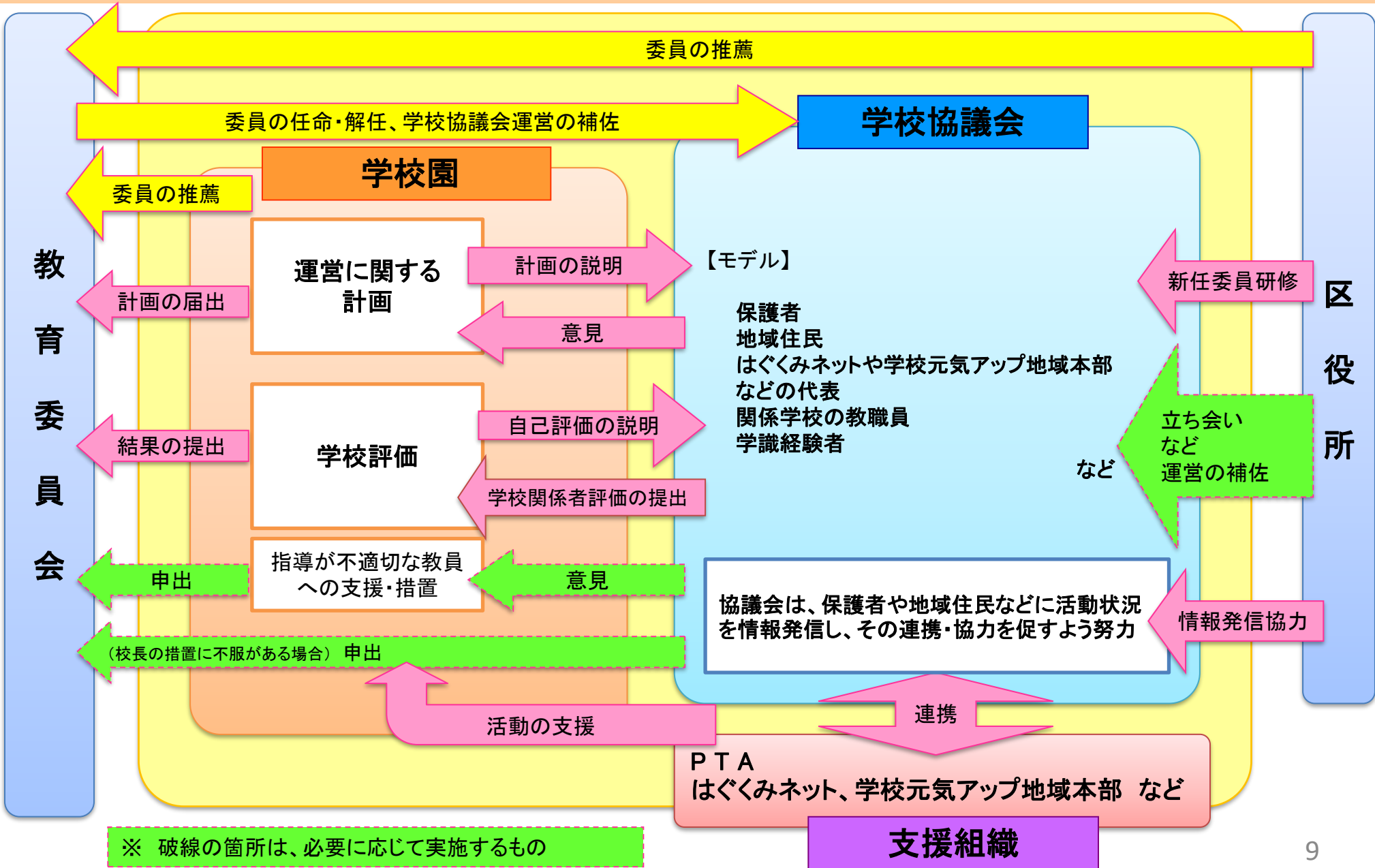
- 学校園の「運営に関する計画」の作成に当たり、校園長に意見を述べること
- 計画の達成状況に対する「学校関係者評価」を実施すること
- 学校園における教育活動を支援する取組に関すること

1 学校協議会とは

必要に応じて実施する役割

- 指導が不適切な教員に対し校園長が講ずべき支援・措置について、校園長に意見を述べること
 - 上記の校園長の支援・措置に不服があるときに、教育委員会に必要な措置を申し出ること
 - 校園長の求めに応じ、学校園の運営に関し、校園長に意見を述べること
- ※ そのほか、教員評価の分布割合を、学校協議会に限り開示するよう求めることもできます。

【模式図】



2 学校協議会の委員について

委員の役割

- 保護者や地域住民などのみなさまを代表して、みなさまの声を学校園に届けていただくこと
- 学校園を支援するために、保護者や地域住民のみなさまで、できることをご提案いただくこと

そのために

学校協議会での議論に積極的にご参加ください。

授業や行事などの参観を通じて、日頃から学校園の様子を見るように努めてください。

2 学校協議会の委員について

委員の任期

任命の日からその翌年度の末日までの**2年以内**

※任期終了後も後任が決まるまでは、引き続きのご参加をお願いする場合があります。

委員の身分など

- 委員は原則無償です。
- 学校協議会の活動中の事故には市民活動保険が適用されます。(加入手続は不要です。)

2 学校協議会の委員について

委員の服務など

委員は、次の行為をしてはならないと定められています。

- 委員としての職務上知り得た秘密を漏らすこと
※ **委員を辞めた後も同様**
- 協議会の運営及び当該学校園の運営に著しく支障をきたす行為
- 委員としての地位を、営利行為や政治活動、宗教活動等に不当に利用する行為
- そのほか、委員たるにふさわしくない非行行為

2 学校協議会の委員について

委員の解任

教育委員会は、ご本人からの**辞任の申出がある場合**のほか、次の場合に委員を解任することがあります。

- 委員が委員の服務等で掲げた禁止行為を行ったとき
- 委員が心身の故障のために職務を遂行することができないとき
- そのほか、解任に相当する事由が生じたとき

3 学校協議会の会議について

3 学校協議会の会議について

学校協議会の組織

会長：学校協議会を代表し、**会議を主宰**します。

※ 学校協議会の運営要項に定めることにより、**副会長を置き、会長を補佐することができます。**

※ 会長と副会長は、**委員の互選で決めます。**
ただし、関係校の教職員を選ぶことはできません。

会議を主宰するに当たっては、次の点に留意してください。

- 多くの委員から、さまざまな意見を引き出すこと
- 時間配分を考えながら、議事を進行すること
- 結論を得られるよう、議論を尽くすこと

3 学校協議会の会議について

会議の招集

- 会長は、あらかじめ、開催場所、日時、案件、議事進行について、校園長と打合せをしてください。
- 開催日の1週間前までに、各委員に対し、会長名の開催案内を送るようにしてください。
- 通知を受けた委員は、欠席する場合には、会長（又は校園長）に連絡してください。
※ **委員の過半数の出席**がなければ、会議は開催できません。

3 学校協議会の会議について

会議の開催

少なくとも**年3回の会議を開催**します。

- 4月：学校園の「**運営に関する計画**」案について校園長から説明を受け、**意見を述べ**ます。
- 10～12月：校園長から学校の自己評価(中間評価)結果の説明を受け、**学校関係者評価(中間評価)**を行います。
- 2～3月：校園長から学校の自己評価(最終評価)結果の説明を受け、**学校関係者評価(最終評価)**を行います。

※ このほか、指導が不適切な教員に関する審議を行う時など、必要に応じて会長が校園長に相談し、会議を開催します。

3 学校協議会の会議について

会議の公開

会議は、**原則公開**です。

※ ただし、次の場合には非公開となります。

- 公開することができないと法令で定められた内容を取り扱う場合
- 個人の利益を害するおそれがある個人情報を取り扱う場合
- 法人の利益を害するおそれがある法人情報を取り扱う場合
- 第三者から公開しないことを条件として任意に提出された情報を取り扱う場合 など

3 学校協議会の会議について

案件の審議

① 校園長などからの説明

※ 説明に時間を要する案件の資料は事前配付があります。

② 説明に対する委員の質問・意見

※ 各委員は、他の委員の発言をよく聴くとともに、ご自身の発言は簡潔にわかりやすく伝えるよう努めてください。

③ (必要に応じて) 採決

※ 次の案件では、挙手などにより必ず採決をとってください。

- 学校関係者評価をとりまとめる場合
- 指導が不適切な教員に対し校園長が講ずべき支援・措置について、校園長に意見を述べることを決める場合
- 上記の校園長の支援・措置に不服があるときに、教育委員会に必要な措置を申し出ることを決める場合
- 教員の評価結果の分布割合の開示を受けることを決める場合

3 学校協議会の会議について

会議(第1回 学校協議会:4月)の進行例

- 開会のことば
- 自己紹介
- 学校協議会運営要項・傍聴要領・**案件**等の確認
- 会長等の選出(**委員による互選**)及び年間計画
- 学校園から説明(案件ごと)
 - ・**「運営に関する計画」案** など
- 協議(案件ごと)
 - ・質問・意見 ・**採決**
- その他(事務連絡など)
- 閉会のことば

3 学校協議会の会議について

「運営に関する計画」(案)の留意事項

● 学校園より

- ・「運営に関する計画」(案)の説明
- ・外部アンケート等、現状のわかる資料の提示 など

● 学校協議会委員より

- ・「運営に関する計画」(案)に対する意見
- ・今後の学校運営についての意見 など

学校への要望を述べるだけでなく、それぞれの立場からどのような参画ができるかもご提案ください。

- ※ 「学校協議会 実施報告書」には、会議で話し合われた
内容(意見等)について、簡潔に記述 【学校園が作成】

3 学校協議会の会議について

会議(第2回 学校協議会:10~12月)の進行例

- 開会のことば
- **案件**等の確認
- 学校園からの説明(案件ごと)
 - ・ **自己評価(中間評価)** など
- 協議(案件ごと)
 - ・ 質問・意見、・ **学校関係者評価(中間評価)**、・ **採決**
- その他(事務連絡など)
- 閉会のことば

3 学校協議会の会議について

学校関係者評価(中間評価)の留意事項

● 学校園より

- ・自己評価(中間評価)結果の説明
- ・外部アンケート等、現状のわかる資料の提示 など

● 学校協議会委員より

- ・自己評価(中間評価)結果に対する意見

妥当であるか、どのように改善すべきかなどについて意見を述べてください。

- ・今後の学校運営についての意見 など

※ 「学校協議会 実施報告書」には、会議で話し合われた
内容(意見等)についても、必ず記述 【学校園が作成】

3 学校協議会の会議について

会議(第3回 学校協議会:2~3月)の進行例

- 開会のことば
- **案件**等の確認
- 学校園からの説明(案件ごと)
 - ・ **自己評価(最終評価)** など
- 協議(案件ごと)
 - ・ 質問・意見 ・ **学校関係者評価(最終評価)** ・ **採決**
- その他(事務連絡など)
- 閉会のことば

3 学校協議会の会議について

学校関係者評価(最終評価)の留意事項

● 学校園より

- ・自己評価(最終評価)結果の説明
- ・外部アンケート等、現状のわかる資料の提示 など

● 学校協議会委員より

- ・自己評価(最終評価)結果に対する意見
妥当であるか、どのように改善すべきかなどについて意見を述べてください。
- ・今後の学校運営についての意見
- ・採決(協議会としての意見の集約)
- ・学校関係者評価報告書の作成 など

3 学校協議会の会議について

運営に関する計画・自己評価の見かた

【年度目標】 数値化されたアウトカム。

＝「取組の結果、こういう状態をめざします。それを数値で表すところになります。」

(例えば)

めざす状態 →学力が大阪市平均を上回っている。

数値で表すと→「小学校学力経年調査における標準化得点を100としたとき、本校が105となるようにする。」

「小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。」

※標準化得点：大阪市の平均正答率が100となるよう標準化した得点

※同一母集団：5年生であれば、1年前の4年生時の標準化得点との比較。

※アウトカム：結果・成果

【取組】 『年度目標』に向けてやっていく取組。

(例えば)

「全学年で主体的・対話的で深い学びができるように、授業内容を工夫する。」

【指標】 『取組』を具体的にどう進めていくか、という数値で計れる行動計画。

(例えば)

「各学年で年に1回(年間6回)、外部から講師を招聘し、授業改善に向けた研修を行う。」

● 情報の発信

学校協議会の活動状況は、学校園のホームページに掲載するとともに、学校園だよりも活用するなど、積極的に広く情報発信するようにしています。また、区役所ホームページにも掲載しますので、委員のみなさまには、ご理解いただきますようお願いいたします。

● はぐくみネットや学校元気アップ地域本部との関係

学校を支援するしくみには、小学校の「はぐくみネット」、中学校の「学校元気アップ地域本部」があります。

学校協議会で協議した内容を実現するためには、これらのしくみと連携し、保護者や地域住民のみなさまのご協力を得るようにしてください。